

本学の卒業生に対する社会評価報告書

2026/9/9 学部長・研究科長会議
キャリアサポート課

1. アンケート概要

□目的:企業・団体が求めている人材像を調査し、卒業生の社会評価を把握することで本学の教育改善につなげる

□対象企業:2000社(本学が連絡先を保持する企業約6000社を3グループに分け、3年で1巡するように毎年実施)

□有効回答数:207件(回答率10.4%)

※昨年度は対象企業300社、有効回答数71件(回答率23.7%)

2. アンケート項目

一. 学生に求めるもの

・芝浦工業大学の学生を採用するにあたって特に重視する点について、該当する項目を学部生、大学院生それぞれ5つまでチェックしてください。

15項目、最大5項目(1. コミュニケーション能力 2. 主体性 3. リーダーシップ 4. 誠実性 5. 協調性
6. ポテンシャル 7. チャレンジ精神 8. 職業観・就労意欲 9. 論理性 10. 柔軟性 11. 責任感
12. 一般教養 13. 工学基礎力 14. 専門性 15. 研究開発能力)

二. 海外渡航経験や英語力について

(1)採用に際し、海外渡航経験や留学経験も判断材料にしますか？

(2)採用に際し、英語力も判断材料にしますか？

(3)入社してから英語力は必要ですか？

(4)新卒入社時に英語力は理想的にはどの程度あった方がよいとお考えですか？(TOIECスコア基準)

三. PBLについて

(1)採用に際し、PBLの経験は判断材料になりますか？

(2)PBLの経験は、入社後の実務に際して役立つとお考えですか？

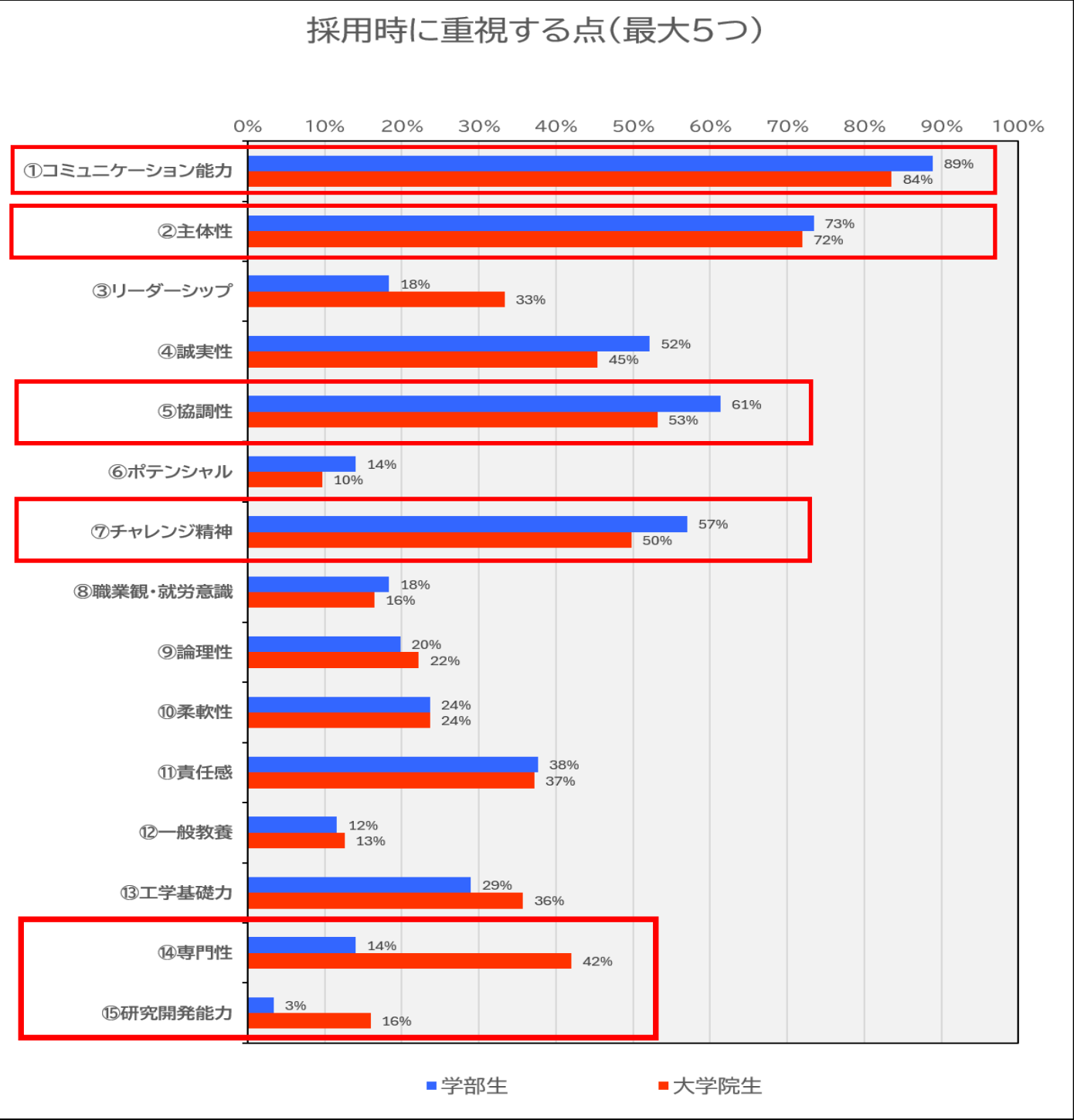
四. 芝浦工業大学の卒業生に対する評価(在籍している場合)

・15 項目(1.コミュニケーション能力 2.主体性 3.リーダーシップ 4.誠実性 5.協調性 6.ポテンシャル
7.チャレンジ精神 8.職業観・就労意識 9.論理性 10.柔軟性 11.責任感 12.工学基礎力 13.専門性
14.研究開発能力 15.語学力)

3. アンケート結果

一. 学生に求めるもの

1-1. 芝浦工業大学の学生を採用するにあたって特に重視する点
全体207名を分母とし、選択された最大5項目を分子として比率算出



・TOP3は、①コミュニケーション能力、②主体性、⑤協調性で、昨年4位だった協調性が上昇。
・4位は、僅差だが、昨年まで3位だったチャレンジ精神。
いずれも、学生時代のエピソードでの「取り組み姿勢」でアピールがしやすいポイント。

1-2. 学部生/大学院生比較

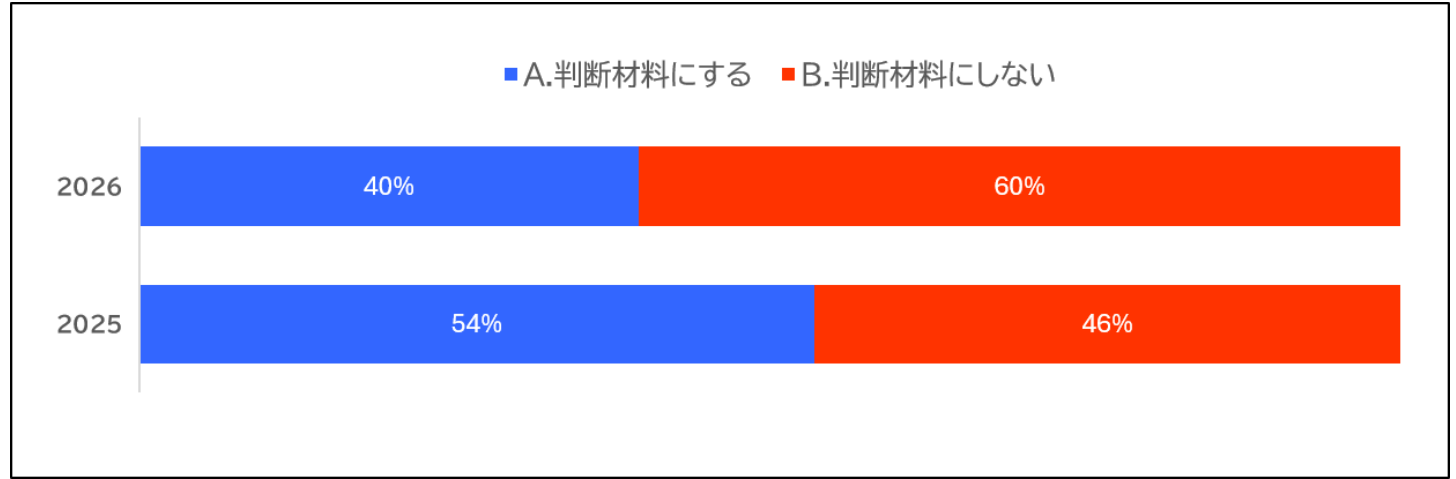
	2026年度			2025年度		
	学部生	大学院生	GAP (大学院生－学部生)	学部生	大学院生	GAP (大学院生－学部生)
①コミュニケーション能力	89%	84%	-5%	85%	80%	-5%
②主体性	73%	72%	-1%	87%	83%	-4%
③リーダーシップ	18%	33%	15%	31%	33%	3%
④誠実性	52%	45%	-7%	41%	37%	-4%
⑤協調性	61%	53%	-8%	68%	56%	-12%
⑥ポテンシャル	14%	10%	-4%	19%	17%	-1%
⑦チャレンジ精神	57%	50%	-7%	73%	72%	-1%
⑧職業観・就労意識	18%	16%	-2%	5%	8%	3%
⑨論理性	20%	22%	2%	17%	28%	11%
⑩柔軟性	24%	24%	0%	23%	20%	-3%
⑪責任感	38%	37%	-1%	36%	33%	-3%
⑫一般教養	12%	13%	1%	7%	7%	0%
⑬工学基礎力	29%	36%	7%	19%	20%	1%
⑭専門性	14%	42%	28%	11%	39%	28%
⑮研究開発能力	3%	16%	13%	4%	21%	17%

- ・学部生は大学院生に比べて④誠実性、⑤協調性、⑦チャレンジ精神が求められる割合が高い(GAP7～8ポイント)
- ・大学院生は学部生に比べて⑭専門性(GAP28ポイント)、⑮研究開発能力(GAP13ポイント)、③リーダーシップ(GAP11ポイント)も求められる割合が高く、リーダーシップについては昨年度には見えなかった傾向となっている。

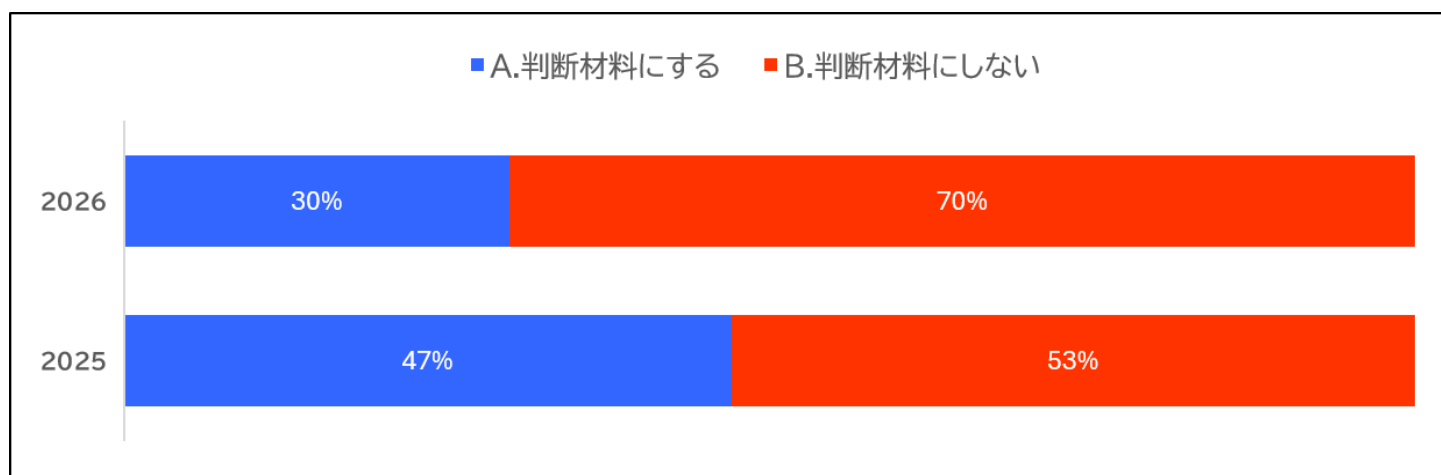
二. 海外渡航経験や英語力について

(設問)芝浦工業大学では「グローバル理工学人材」育成の一環として、学生の国際性の涵養(短期留学の推奨や英語力の養成等)にも力を入れています。このことに関する貴社のお考え等について、それぞれあてはまるものを一つ選んでチェックしてください。

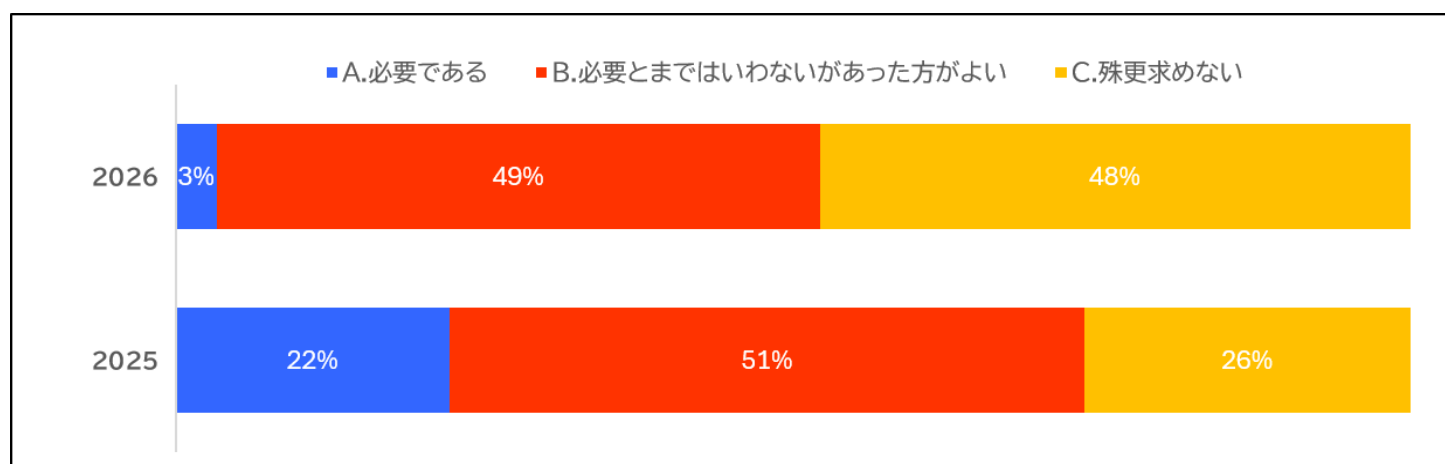
2-1. 採用に際し、海外渡航経験や留学経験も判断材料にしますか？



2-2. 採用に際し、英語力も判断材料にしますか？



2-3. 入社してから英語力は必要ですか？



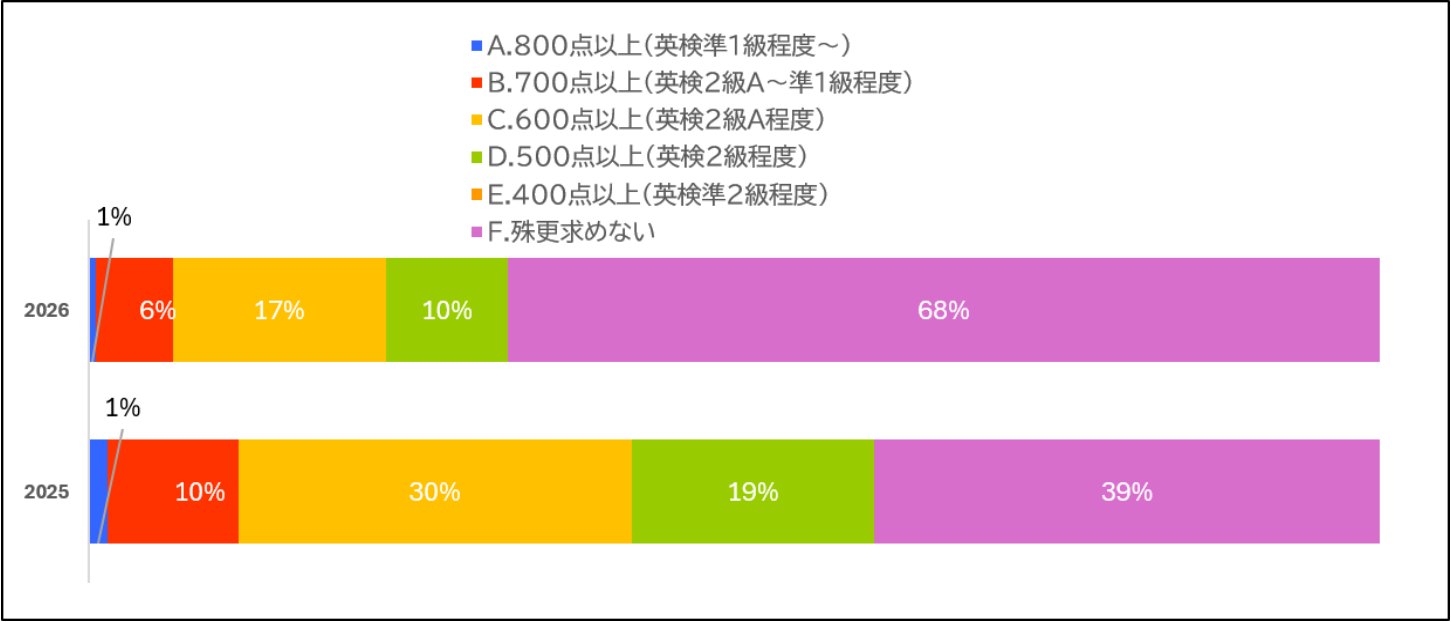
(その他意見)

- ・英語力よりも「海外への抵抗感」がないことが大切と考える
- ・英語を必要とする部署・職種では判断材料にする可能性がある

・2-1および2-2の回答で「採用に際して海外経験/英語力を判断材料にする」と回答した企業は全体の3~4割程度だが、2-3で「入社してから英語力は必要」と回答した企業は5割以上であり、採用時の英語力は不問としながらも、入社後は英語力を求める企業が多いことが分かる

- ・英語力が採用に肯定的な影響を与える可能性が大きいと推測できる

2-4. 新卒入社時に英語力は理想的にはどの程度あった方がよいとお考えですか？(TOEICスコア基準)



- ・24%の企業が「C.600点以上」と回答
- ・一方で、「殊更求めない」も7割弱の回答があった
- ・TOEICの得点は求めないが、日常会話レベルが出来るとより良いという意見もあった

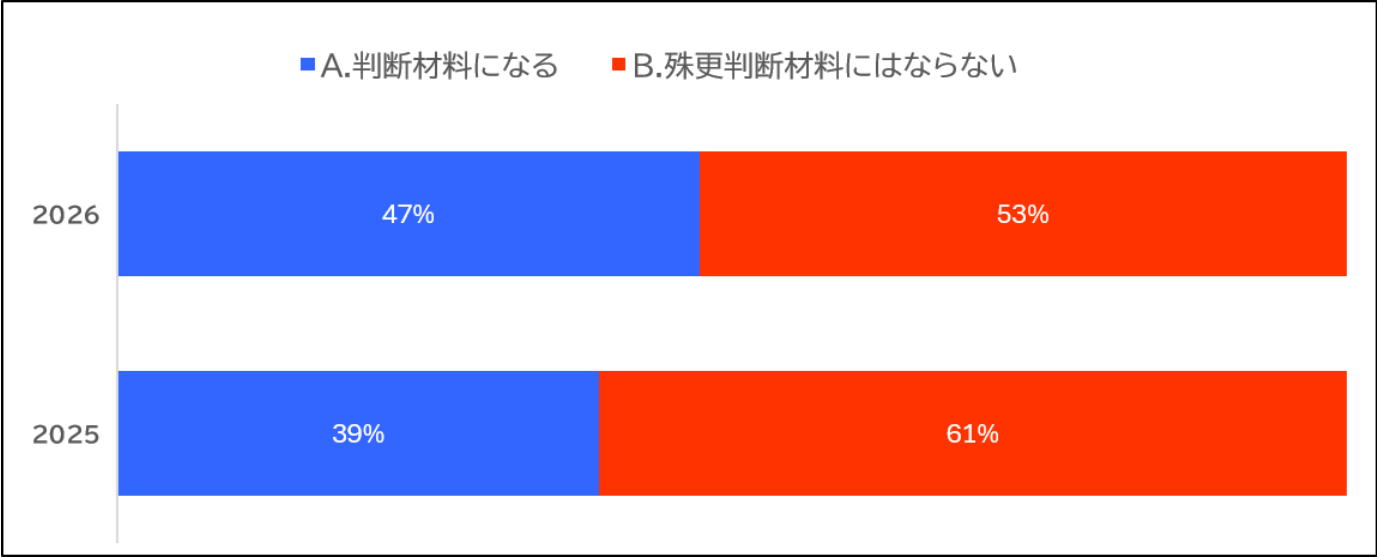
(参考)回答企業例

A.800点以上 B.700点以上	日建設計、日本航空、バンビ、日本テクニクス、重松製作所、トンボ鉛筆、ブリンガ、ムラヤマ、 日水コン、山製作所、アルプス技研、マザーハウス、ゼンショーホールディングス
C.600点以上	NTTデータ、IHI、タンガロイ、アイチコーポレーション、NSD、ポラスグループ、トプコン、 ジーシー、デンソーテン、ツムラ 等
D. 500点以上	エイチ・アイ・エス、NXエンジニアリング、クリハラント、丸山製作所、ユニバンス、ピーシーテレコム、 イワキ、フジワーク、ジャパンテクニカルソフトウェア 等

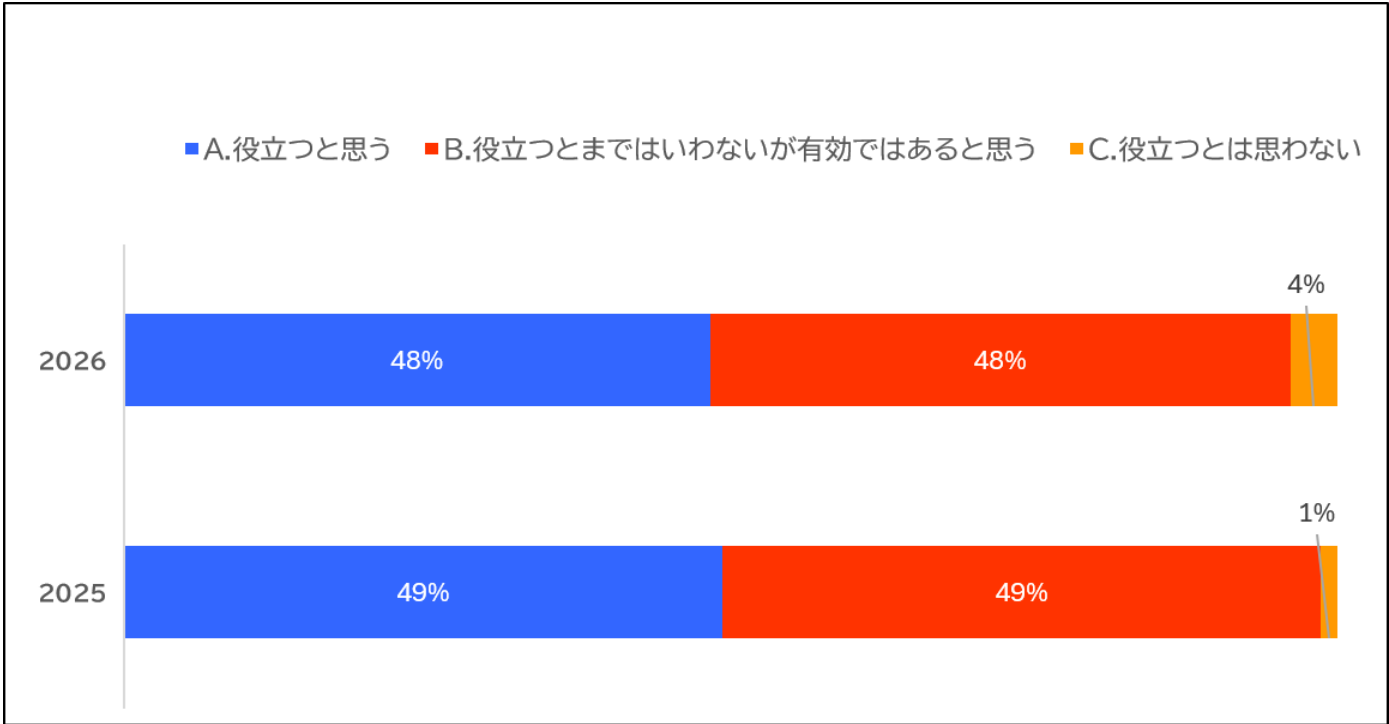
三. PBLについて

(設問) 芝浦工業大学では、アクティブラーニング教育の一環として、従来からPBL〔Project Based Learning(プロジェクト学習)〕に取り組み、近年は国内外の協定校・企業・行政機関とも連携した「グローバルPBL」(※)を積極展開しています。
PBLに関する貴社のお考え等について、それぞれあてはまるものを一つ選んでチェックしてください。
(※) 海外協定校の学生とチームを結成し、チームメイトと英語で議論しながら様々な課題を解決しつつプロジェクトを推進していく取り組み(実践的な課題解決スキルの習得に極めて有効)。

3-1. 採用に際し、PBLの経験は判断材料になりますか？



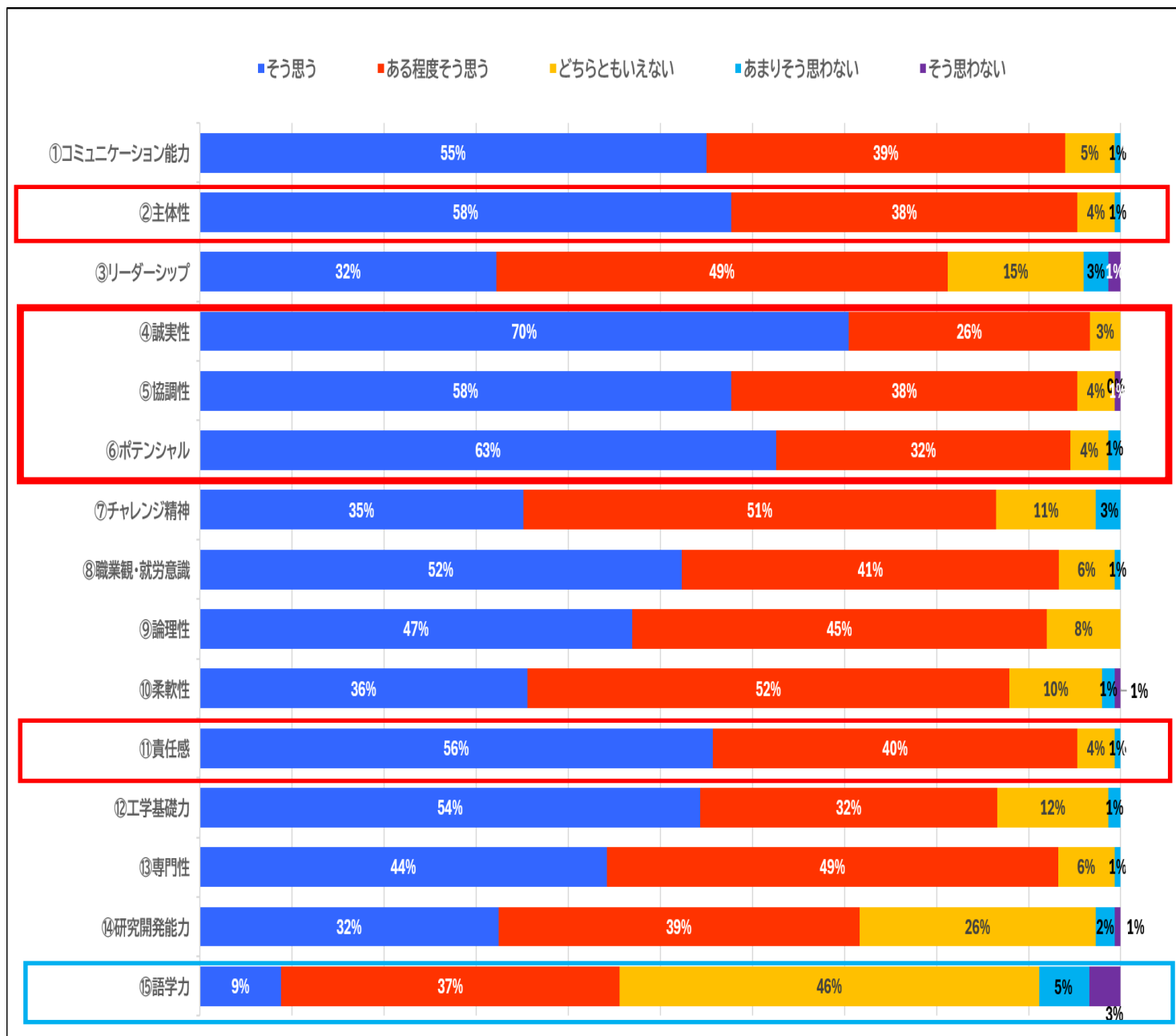
3-2. PBLの経験は、入社後の実務に際して役立つとお考えですか？



四. 芝浦工業大学の卒業生に対する評価

(設問)芝浦工業大学の卒業生が貴社に在職している場合、次の各項についてご回答ください。

- ①《コミュニケーション能力》 相手の話を理解し、自分の意見を伝える能力があると思いますか？
- ②《主体性》 仕事にみずから自発的に取り組む姿勢があると思いますか？
- ③《リーダーシップ》 周囲を巻き込み率先して人を導く姿勢があると思いますか？
- ④《誠実性》 仕事に対して誠実に取り組んでいると思いますか？
- ⑤《協調性》 まわりの仲間と協調して仕事ができると思いますか？
- ⑥《ポテンシャル》 将来、企業人として伸びる可能性があると思いますか？
- ⑦《チャレンジ精神》 新しいことにチャレンジする意欲があると思いますか？
- ⑧《職業観・就労意識》 自分の仕事をよく理解し、意欲をもって仕事に取り組んでいると思いますか？
- ⑨《論理性》 課題解決するときや議論の際に、論理的に物事を捉えられると思いますか？
- ⑩《柔軟性》 いろいろな仕事に対し、柔軟に対応できる能力があると思いますか？
- ⑪《責任感》 仕事に対する責任感があると思いますか？
- ⑫《工学基礎力》 大学で学んだ工学分野についての基礎力がしっかりと身についていると思いますか？
- ⑬《専門性》 大学で学んだ専門分野の知識はもとより、業務遂行上身に着けた専門的な知識や経験を活かしていると思いますか？
- ⑭《研究開発能力》 研究開発部門で課題に取り組み、成果を発揮できる素養と能力があると思いますか？
- ⑮《語学力》 基礎的な語学力を有し、業務に必要な外国語を習得する意欲と能力があると思いますか？



- ・④誠実性、⑥ポテンシャル、②主体性、⑪責任感、⑤協調性が特に高く評価されており、本学の学生の特徴である「真面目さ」が卒業後にも発揮されている
- ・一方で、⑮語学力については「どちらともいえない」が高い割合を示している